

満開 大中桜 平成十八年五月四日



撮影 広報委員長 小泉 慎子

就任ごあいさつ

校長 神居 隆
Kamii Takashi



例年よりも本格的な春の到来が遅く、楽しみにしておりました。五月二日の運動会も、長根山の桜がまだ蕾で残念でありました。その後、春も本格的になり、校地内の桜が爛漫となつた風情はさすがに歴史と伝統に彩られた名門の証と感慨深いものがありました。

さて、私こと神居隆は、平成十七年度末人事異動によりまして、前任小松雅治校長の後任として四月に赴任いたしました。秋田東高校並びに秋田明德館高校では、高校の統合として新しいタイプの高校の立ちあげの仕事をさせてもらいましたが、本校は地域の中心校であり全国でも屈指の伝統校であります。去る五月十日の鳳鳴会総会において会員の皆様にご挨拶させて頂きました。その後、春も本格的になり、校地内の桜が爛漫となつた風情はさすがに歴史と伝統に彩られた名門の証と感慨深いものがありました。旧制の中学校を前身とする多くの伝統校がそうであるように、本校にとつて最も大切なことは生徒諸君の進路の達成であります。ここ数年、本校の国立大学合格者数は増加を続け、この三月には、東北大学十一名を始め、百六十名が合格しており、東北でもトップクラスとなりました。この実績が教職員及び生徒諸君にとつて自信となり、学校全体に活気を与えてくれるようになっております。生徒諸君には、本校に学ぶ者としてこの輝かしい伝統を受け継ぎ、更に「二十一世紀の日本を背負つて立つ気概を持ち、自分の可能性を信じて、勉学に励んでいただきたい」と話しております。

鳳鳴会会報

第37号
2006. 6 .21

発行 秋田県立大館鳳鳴高校 鳳鳴会
〒017-0813 大館市金坂後6
TEL・FAX0186-44-5411
URL http://www.homei.jp
題字 藤嶋省平鳳鳴会顧問
印刷 武内印刷株式会社

おいて優れているということをおいて文部科学省から認められ、全国で唯一校優秀賞を受賞いたしました。平成十五年度から全国各地の名だたる進学校とともに指定を受けて実施している研究ですが、本校の生徒諸君の真摯な取り組みが評価

このたび、校長として会員の皆様にご挨拶できますことは、私にとりまして誠に光栄なことであり、微力ではありますが、皆様の御期待に添えるよう、校勢の高揚のために全力を尽くして参る覚悟でございますので、何卒よろしくお願いたします。

「こんなの初めて」という今年の大雪異常気候で、五月の連休に合わせたかのように咲き始めた爛漫の桜も、そろそろ八重桜に移り始めた五月十日の開校記念日、恒例の鳳鳴会総会が秋北ホテルで開催された。

物故会員への黙祷を捧げたあと、木村会長、続いて初赴任の神居校長の挨拶があり、義務教育と高校の連携プレーで鷹巢中より異動してこられた小松大二郎教頭（28期）の紹介があった。

議案に入り、十七年度事業報告、決算報告並びに監査報告がなされ、いずれも問題なく承認。財政委より前回の第三十六号会報ページ数増により、印刷費、送料共増になった、HP運営委では、アクセスが一日90件、掲示板OB会への書き込みをぜひ！事務局からは、昨年卒業後四年間は会報を郵送、また母校に部活動強化で五十万円贈呈等の報告があった。次に十八年度事業計画及び予算案が提案され、特別企画として篠山鳳鳴百三十周年記念式典への参加が出された。一〇五周年にきていたただいたお礼も兼ねて皆さん奮つてご参加を！役員改選では、三役が留任。満場一致で承認された。ただ平成十年から事務局を一手に引き受けて下さつた平泉事務局長が六月で引退、宮崎、菅原両氏（共に13期）に引き継がれることになった。

懇親会は、昨年に引き続き一七〇名ほどの参加（18期16名、14期13名、30期11名、12期10名他）があり、当番期38期の小棚木政之さんのきびきびとした司会で進められた。神居校長より今年医学部に七名が合格（なんと野球部員も！クリーンヒット！）鳳鳴の精神まさに文武両道、武の方に力を入れ全国大会でも名を馳せるよう努力したいと。各地区会長による報告のあと、25期大間ジロー氏による演奏が始まった。それまで騒がしかった会場が大間さんが登場すると、全員が注目シーンと静まりかえつた中、激しいパーカッションと篠笛の高音の澄みきつた響きで演奏が始まった。和太鼓のメンバー二人も加わり、満身の力を振り絞つたホテル中を鳴り響かせるすごい演奏で酔つてるヒマが無い！教え子のエネルギッシュな演奏に、担任だった宮崎先生が思わず駆け寄り握手を、労をねぎらうコマモ。その後各期に分かれて、応援歌を熱唱。校歌斉唱、万歳三唱。熱い夜は終了した。

平成18年度 鳳鳴会三役	
会長	木村 高明 (高12)
副会長	佐藤 祥男 (高7)
副会長	小泉 慎子 (高16)
副会長	時苗 誠 (高18)
副会長	桑名 秀明 (高33)
副会長	神居 隆 (校長) (高33)
副会長	越前 和俊 (高20)
会計監査	中田 直文 (高21)
会計監査	浅利 大造 (高30)
事務局	宮崎 博文 (高13)
菅原 準一 (高13)	

鳳鳴会総会開催

広報委員 谷川原郁子(高24)

平成18年度 事業計画

1. 会報37号(6月) 38号(2月)の発行
2. ホームページによる広報活動
3. 各地区鳳鳴会への参加並びに各地区代表の会議出席者に旅費補助
4. 各地区鳳鳴会への補助金の支給
5. 母校の部活動強化のために助成金を贈呈
6. 新入会員に卒業記念品の贈呈
7. 「松下村塾園遊会」の開催と「松下村塾カルチャースクール」の後援
8. 兵庫県立篠山鳳鳴高等学校創立130周年記念式典(11月19日)への参加

平成18年度 5委員会・事務局名簿

印は委員長 印は副委員長

企画委員会 桑名 秀明(副会長) 菊池 和夫(高2) 松江 長成(大45) 山田 亮逸(高1) 浜松 和男(高4) 成田加奈子(高14) 戸枝 正樹(高19) 武田 幹夫(教頭) 成田 榮樹(総務部長)	名簿委員会 佐藤 祥男(副会長) 土田 哲(高3) 武内 政雄(大45) 田中 京子(高9) 三ツ倉和雄(高11) 山田 和人(高29) 成田 榮樹(総務部長)
財政委員会 蒔苗 誠(副会長) 乳井 宏資(高10) 高橋 彰彦(高6) 庄司富佐男(高8) 菅 大輔(高16) 武内 良文(高36) 明石 宏康(高37) 工藤 哲雄(事務局長) 松江真由美(会計)	ホームページ運営委員会 赤平 一雄(高20) 小棚木政之(高38) 加賀 佐(高34) 米澤 正貴(高41) 三浦 孝之(高48) 高田 典雅(事務局次長)
広報委員会 小泉 槇子(副会長) 小松 幸(高15) 根田穂美子(高22) 谷川原郁子(高24) 柴田 司(高27) 小池 昌平(高36) 小棚木政之(高38) 小松大二郎(教頭) 赤坂可奈子(事務局)	事務局 宮崎 博文(局長・高13) 菅原 準一(次長・高13) 高田 典雅(次長・高38) 伊藤すなお(高30) 成田 毅志(高45) 赤坂可奈子(高45)

東京 長村上 芳明(高14) 石井 邦夫(高14) ☎101-0035 住 東京都千代田区神田紺屋町46 風月堂ビル503 ☎03-3254-5255
仙台 長小笠原明敬(高5) 石戸谷均(高18) ☎980-0013 住 宮城県仙台市青葉区花京院2-2-78サツチェリ一棟内 ☎022-262-2885
札幌 長関 信弘(大37) 阿部 徹(高15) ☎069-0833 住 北海道江別市文教台15-3 ☎011-387-6363
名古屋 長相馬 通明(高8) 佐々木直栄(高35) ☎455-0008 住 愛知県名古屋市中区9番町4-2-17高郊ハイツ403 ☎052-654-3832
豊後 長西川 寛(高13) 安井 稔(高10) ☎030-0955 住 青森市大字駒込字月見野299-268 ☎017-742-5838
秋田 長野口 修平(高17) 柴田 司(高27) ☎010-0933 住 秋田市川元松丘町4-59武内印刷(株)内 ☎018-862-8754
能代 長三国 高教(高10) 北林 孝(高21) ☎016-0171 住 能代市河戸川字上相達16 ☎0185-52-9453
鹿角市 長吉田 重信(高7) 星川 由則(高24) ☎018-5201 住 鹿角市花輪字中花輪54-2 ☎0186-23-2179
鷹巣 長檜森 正(高12) 中川 真一(高26) ☎018-3315 住 北秋田市花園町19-1北秋田市役所内 ☎0186-62-6666
磐前 長金 与恵門(大42) 桂 邦夫(高8) ☎018-4301 住 北秋田市米内沢字御嶽50-1 ☎0186-72-3582
阿仁 長(代行)福島晴(高7) 福島 晴(高7) ☎018-4613 住 北秋田市阿仁銀山字下新町5-8 ☎0186-82-3115
田代 長猪野 慶(高4) 中村 真(高19) ☎018-3501 住 大館市岩瀬字大柳86-2 ☎0186-54-2608
比内 長佐藤賢一(高18) 米澤 健一(高3) ☎018-5701 住 大館市比内町扇田字中扇田18 ☎0186-55-0602
小坂 長川田重三郎(高7) 近藤 肇(高26) ☎017-0292 住 小坂町役場農林振興課内 ☎0186-29-3912

鳳鳴会事務局の巻

平泉先生、御苦労様でした。
宮崎・菅原先生よろしくお願ひいたします。



おじやまシリーズ 13 おじやまします。

五月十日開校記念日である今日は鳳鳴会総会の日でもあります。準備に何かとお忙しいところへおじやましました。今まで長い間、事務局長として大きな力を注いでくれた平泉健之助先生(高8期)が、六月一杯で退任されます。そして四月より宮崎博文先生(高13期)と菅原準一先生(高13期)が日替わりで事務局に詰めていらつしやいます。三人にインタビューしました。

Q平泉先生今まで長い間御苦労様でした。何年間になりますか?
A平成元年に教員として鳳鳴に赴任、鳳鳴会幹事・主任幹事をやり十年三月に退職しました。引き続き初代事務局長として八年、通算十七年間です。

Qその間一番の思い出は?
A創立百周年に携わった事です。

Qこの後は何を?
A七月末に札幌に転居するので、今後は札幌鳳鳴会の手伝いをしたいと思います。宮崎・菅原両先生に、鳳鳴との関わりは?
A宮崎 昭和45、55年まで教員としていました。菅原 昭和60、平成11年まで教員として。

Q今後の抱負は?
A宮崎 鳳鳴会のさらなる発展と充実に力を注ぎたい。菅原 母校にお礼奉公のつもりで頑張りたい。

Q鳳鳴会に望むことは?
A菅原 年一回の総会にまだ一回も出席したことのない人が出やすいような橋渡しをしていきたい。宮崎 活気ある同窓会にしたい。

お二人声をそろえて 先輩・後輩が仲よくやっていきたいし、役割分担して一人が同じ役を長い間やらない。熟年になったら同窓会を思い出して顔を出してもらいたい。同窓生が母校に恩返しのもりで会に参加して欲しい。時代は変わりつつあるので若い会員もどんどん来て欲しい。

平泉先生は本当に長い間御苦労様でした。そして四月より就任なさっている両先生、ツツコミとボケのコンビで何か楽しい事務局のように感じました。

という訳で今後事務局は、原則として火・木曜宮崎先生、水曜菅原先生、時間は十時から四時までとなります。同窓生の皆様も母校を訪ねながら一度足を運んでみて下さい。

おめでとう!

第一部「総会」では、小笠原明哉会長が「ともかくも二十周年の節目を迎えることが出来た。ひところは七十人、八十人といったメンバーが集まっていたこともあるので、再び活況を呈するよう努力していきたい」と挨拶。

第二部「特別記念講演」では、文筆家の小松宰氏による講演「源義経と日本の歴史」が行われ、日本の歴史における東西の対立などについて熱心に聞き入った。

第三部「懇親会・新同窓生歓迎」では、山口一良副会長が挨拶と来賓紹介。続いて小松大二郎教頭が運動部の活動状況や進学状況などについて報告すると、後輩たちの活躍ぶりに何度も「おう……」と嘆息が漏れ、参会者たちも満足げな様子だった。

続いて木村高明鳳鳴会長の来賓挨拶が行われたあと、林圭子副会長の発声で乾杯。懇親会に入った。懇親会では、あちこちで高校時代の思い出話に花が咲き、近況報告や情報交換にも熱が入って楽しいひとときを過ごした。

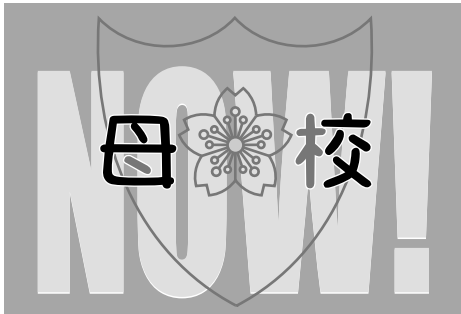
このあと羽川理子教諭による新会員紹介が行われると、若くはつらつとした鳳鳴男女の姿に「頑張れよ」と先輩たちから盛んな拍手が起こっていた。

フィナーレの校歌斉唱のあと、樋口貞三会員の音頭で万歳三唱が行われ、「来年もまた必ず会おう」と誓い合せて、この日は一応散会。さらに二次会の席で、参加者から「何とかして野球部を甲子園に出してあげたい」と熱い声が上がると、小笠原明哉会長が「実はそのことだが、野球部の活動を応援するため、野球部の仙台後援会を立ち上げたい」と思っている。ぜひとも皆さんのご協力をして」と構想を語った。できれば来年にも実現を漕ぎ着けたい意向とのこと。次号あたりでは、もう少し詳しい報告が出来るかもしれない。

仙台鳳鳴会が20周年

校了! つぶやき -For closing-

今年は近年にない豪雪に見舞われ、寒さも厳しく、なかなか訪れてくれない春でした。が、総会の当日は一気に5月日和になりました。かつて大中(鳳鳴)健児だった諸先輩の皆様の豊饒とした若さが風薫る5月を運んでくれたかのようでした。私達もかくありたいものです。
根田穂美子(高22期)



第四回 運動会中継 06 鳳鳴高校編

…BGM Tスクエア

「トゥールース（Fのテーマ）」

アナウンサー（以下アナ）「全国の運動会ファンのみならず、今日は大館市市長根山陸上競技場より鳳鳴大運動会のお送りいたします。解説はおなじみの運動会評論家・佐倉末咲さんをお願いいたしました。佐倉さんよろしくお願います。」

入場行進



アナ「さあ、選手入場です。軽快な入場曲に乗って選手たちが整然と入場してきました。」

サク「モチベーションは高そうですね。」

アナ「ピッチ上に整列。これから開会式です。開会宣言は武田幹夫教頭です。」

サク「武田教頭は強烈なキャラクターで生徒から絶大な人気を得ています。」

武田「鳳鳴高校…運動会…を…開会します！」

アナ「生徒から大受けです。ヤンヤの喝采。指笛の風なぜこんなに受けるんですか？」

サク「文章にすると分かりづらいですが、絶妙の間がティーンズのハートをガッツリキヤッチしているようです。」

アナ「続いて選手宣誓。通例にしたがって野球部の一町田義軌主将が行います。」

一町田主将「我々選手一同は家族を大切に愛する人を守るために闘い抜くことを誓います。」

サク「この宣誓を夏の甲子園で是非とも聞きたいものですね。」

会場案内



アナ「さあ、準備体操の合間を使って会場の周辺案内をしたいと思います。会場の外にはレポーターの日々野真里さんが待機してくれています。日々野さん。」

日々野（以下ヒビ）「はい、会場の正面入り口に来ています。記録的な厳冬の名残で会場周辺の桜はまだまだつぼみのままです。さて、鳳鳴大運動会。かつては校内のグラウンドで行われていましたが、今ではここ岩神山のふもと、長根山陸上競技場が主会場としてすっかり定着しています。」

アナ「校内で行われなくなっただのは、なにか理由があったのですか？」

ヒビ「学校創立百周年の記念運動会の際、観覧者が多くなりそうだというので観覧スタンドのある長根山陸上競技場を使ってみたところ、放送設備が完備している、駐車場があるなど利便性が高かったことから、以来ここで行われるようになったそうです。」

アナ「なるほど」

ヒビ「ただこれを見てください。会場入り口付近の路上に駐車禁止の看板の前にもピシリ観覧者の車がとめられています。」

アナ「駐車場の空きがないんですか？」

ヒビ「競技場裏手の駐車場はガラガラなのですが歩く距離が多少長いということと敬遠されているようです。」

アナ「もしこれを見ている人で禁止場所に駐車した人がいたら、来年からは改めてほしいですね。」

ヒビ「以上、会場の周辺案内でした。」

競技開始



アナ「さあ、競技が始まりました。おっと男子百米走にはタイガーマスクがエントリーしています。あっと、タイガー速い。速い。」

サク「タイガー選手。他を全くよせつけずにダントツの一位です。」

アナ「タイガー選手は一体誰なんでしょう？」

サク「それより、裸で寒くないでしようか。」

（中略）

平成18年度 鳳鳴会事業ご案内

松下村塾 園遊会のご案内

日時 7月22日(土) 午後4時30分～

会場 竹村記念公園「松下村塾」大館市北神明町6(一中通り)

会費 3,000円

申込み 大館鳳鳴高校事務室(松江)

電話 42-0002

FAX 49-2044

締切 7月19日(水)

*どなたでも参加できます。

主催 (財)大館鳳鳴高等学校振興会 大館鳳鳴高等学校鳳鳴会

平成18年度「松下村塾カルチャースクール」

- 主催:(財)大館鳳鳴高等学校振興会 後援:大館鳳鳴高等学校鳳鳴会
- 第1回「中風とボケ」 講師:石田 恭央(石田脳神経外科クリニック理事長) 日時:6月24日(土)午後2時 会場:鳳鳴記念館
 - 第2回「戦国時代と現代「功名が辻」にちなんで」 講師:小松 幸(著述家) 日時:7月15日(土)午後2時 会場:鳳鳴記念館
 - 第3回「郷土の食材を使った料理」 講師:石川博司(北秋クラブ社長) 日時:9月16日(土)午後2時 会場:大館広域交流センター
 - 第4回「中国甘肅省の紹介」 講師:廬燕玲(秋田県中国甘肅省文化交流員) 日時:10月21日(土)午後2時 会場:鳳鳴記念館
 - 第5回「おもしろ科学ゼミナール」 講師:成田榮樹(大館鳳鳴高校教員) 日時:11月11日(土)午後2時 会場:鳳鳴記念館
 - 第6回「万葉集 山上憶良(やまのうえおくら)」 講師:赤坂可奈子(大館鳳鳴高校教員) 日時:11月25日(土)午後2時 会場:鳳鳴記念館
- 会費 2,000円(6回分)
- 問い合わせ 大館鳳鳴高校事務室(松江) 0186-42-0002

兵庫県立篠山鳳鳴高等学校「創立百二十周年記念」 「記念式典・祝賀会・交流戦」ご案内

- 野球部交流試合
- 【期日】 平成18年11月18日(土) 午後1時
 - 対 篠山鳳鳴 篠山鳳鳴グラウンド
 - 平成18年11月19日(日) 午前9時30分
 - 対 報徳学園 三田城山運動公園
- 式典並びに祝賀会
- 【式典】 平成18年11月19日(日) 午前10時
 - 篠山鳳鳴高校体育館
 - 【祝賀会】 平成18年11月19日(日) 午後2時
 - コニヤアサヤ
- 3コースの内訳(北空港利用が寝台特急利用)左記表参照



アナ「さて、最大の呼び物・棒倒しです」

サク「昔は頭頂部までそり込みの入った選手やアフロヘアの選手が味方陣地の前に仁王立ちしていたのですが、今は外見的に暴れん坊だとわかる選手はいませんねえ」

アナ「ピストルが鳴って両軍の攻撃陣が走り出しました」

サク「あつと。またタイガー選手です」

アナ「タイガー選手独走。速い。あまりにも速いため守備側の集中攻撃を受けてあえなく場外に排除されてしまいました」

サク「これは明らかに作戦ミスでしょう」

揃いＴシャツでゴー！

アナ「ここで、応援席を見てみたいと思います。リポーターの日々野真里さんが行ってってくれます。日々野さん」

ヒビ「はい。応援席ではクラスごとにおとなしく声なき応援を続けています」

アナ「足場を組んだ応援ステーションやポンポンや旗を振り回すという光景はなくなっ

たんですね」

ヒビ「そうですね。公共の施設を会場にしている関係でしょうか、派手な仕掛けは影を潜めています。というより、誰が走っていないようがあまり関心がないようですよ」

アナ「そうですね」

ヒビ「そんな中でほつべにハートマークを描いた先生を見つけた。二年E組の担任・成田先生です。先生、ペイントは「自分で？」



成田「いやあ。生徒たちが描いてくれました」

ヒビ「成田先生は人気者なんですね。ありがとうございます」

アナ「先ほどから揃いのＴシャツを着た選手が目につくのですが」

ヒビ「そうですね。クラスで揃いのＴシャツを作るといのが最近の流行のようです」



す。話を聞いてみましょう」

生徒「3Eです。我駆ける我最強也/参威て描きました」

アナ「うん。漢文として正しいかはさておき赤地白字は見やすいですね」

ヒビ「次は紺地に白文字で「俄然強め/ワロス」と描いたＴシャツ」



アナ「強い」じゃなく「強め」というセンスがすごいですね」

ヒビ「ワロスって何ですか？」

生徒「メール用語で、(笑)みたいな意味です」

ヒビ「次のこれは分かりやすいですね」

アナ「ピストルスですかねえ」



ヒビ「牛乳の成分表示みたいなものがあります」

生徒「担任が阪本公正先生なので牛乳の公正表示にかけてクラス全員の名前を原材料として描きました」

アナ「うまい！って感じですね。ミルクをもっと！」

ヒビ「最後は理科の作品。やつぱり出た。萌えです」

アナ「はい。生徒会長の目時暢子さんのコンセプトです。腹側の絵は真ん中の男子が描きました。萌え」

ヒビ「応援席からはこんなところですよ」


アナ「はい。ありがとうございます。間もなく放送時間になりました。佐倉さんから一言いただきました」

サク「今年度のＴシャツ大賞は「俄然強め」に決めました。また来年もがんばって欲しいですね。あ、タイガー選手の今後にも期待しましょう」

アナ「ありがとうございます。それでこの辺で、長根山陸上競技場からさよなら。あつ。Ｔシャツ大賞には何も出ませんよあ」

広報委員 小池 昌平(高36)



C	B	A	
コース 3泊4日 特急寝台利用 約5.3万円	コース 2泊3日 北空港利用 約6.7万円	コース 3泊4日 北空港利用 約8万円	
大館駅発 17:58 寝台特急日本海2号		北空港発 15:00 伊丹着 16:45	17日(金)
車中泊	ホテル 宿泊 大館	ホテル 宿泊 大阪	
篠山口駅着 9:17 午後 対篠山鳳鳴戦	北空港発 15:00 伊丹着 16:45	午前 市内見学 午後 対篠山鳳鳴戦	18日(土)
ホテル 宿泊 篠山	ホテル 宿泊 篠山	ホテル 宿泊 篠山	
午前 対報徳学園戦 式典 午後 祝賀会 大阪駅発 20:17 車中泊(日本海3号)	午前 対報徳学園戦 式典 午後 祝賀会 ホテル 宿泊 篠山	午前 対報徳学園戦 式典 午後 祝賀会 ホテル 宿泊 篠山	19日(日)
寝台特急日本海3号 大館駅着 10:30	伊丹発 13:00 北空港着 14:25	伊丹発 13:00 北空港着 14:25	20日(月)
解散	解散	解散	

(時刻・費用は現時点のダイヤ、昼食は含まず)

申込
A、B、Cのコースの中から一つ選んで、左記の所へ申し込んで下さい。
大館鳳鳴記念館内 事務局
電話 〇一八六 四四 五四一一 宮崎博文 菅原準一
大館鳳鳴高校 事務局
電話 〇一八六 四二 〇〇〇二 松江真由美
鳳鳴会 公式ホームページ
<http://www.homei.jp>
申込締切 平成18年10月2日(月) 厳守

！年会費(2000円)の納入をお願いします。

口座番号 02560-5-5232 (郵)

Table of sports results for various schools and clubs. Columns include school names (e.g., 野球場, サッカー部), results (e.g., 優勝, 準優勝), and names of participants or winners.

England expects...ポテ

秋田への電車で熊谷直春さんと会った。熊谷さんは、青木先生の奥さんの甥御さんで、青木先生のお話をたずねたら、なんと、市内の施設にあり、お見舞の帰りとのこと。青木先生のたずねに不審をいだきつつ情報もなく過ぎたことを悔いた。聞けば、奥さんは既になくなられたとのことである。

England expects that every man will do his duty. 東洋史の講義中、何のきっかけでか、先生が紹介したネルソンの言だ。わが東郷元帥の、日本海海戦の「皇国の興廢この一戦にあり 各員一層奮励努力せよ」は、これに基



鳳鳴人物志 4

づくとも言われた。上の英文は私の記憶にあるままで、誤りもあるが、六十三年後の今なおはっきりしている。青木先生の東洋史はおもしろく又ルハチ、サルホ河、コップツレツなどノートに残る。た

だしコップツレツは忽ち烈の音よみでちとおかしいと思つた。杉山正明のモンゴル史にはクビライ、別にフビライという説もあるが 名門鎌倉師範から日大に学んだが、川崎高校を訪ねたとき

新役員のこと。事務局長に根田穂美子(高22)が就任。地区会長・事務局の交替。阿仁鳳鳴会では会長の濱田章氏(高40)が勇退し、事務局長の福島晴(高7)氏が会長代行となった。東京鳳鳴会の事務局長は、21年間務めた工藤禮次郎氏(高5)に替わって石井邦夫氏(高14)が担当することになった。

Table titled '平成17年度進路状況' (Heisei 17th Year Progress Status) showing the number of graduates from various schools who entered different universities and colleges.



作品は抽象画の「記憶の断章・06-1」で、色鮮やかな配色と大胆な構図が高くときわ目を引き、自由かつ新鮮な作品として高く評価された。なお、佐々木氏の作品は鳳鳴記念館の1階ロビー正面にも飾られている。

事務局体制 - 平成10年から務めている原泉健之助事務局長(高8)が6月で退任し、替わって宮崎博文(高13)が事務局長に就任した。

祝 叙勲 「春の叙勲」が4月29日付けで発表され、次の同窓諸氏が受賞した。瑞宝中級章 赤上陽出男氏(高40) [教育功労 - 秋田大学名誉教授] 旭日小級章 佐藤一氏(高2) [地方自治功労 - 元鹿角市議会副議長] 旭日双光章 盛岡敬二氏(高45) [保健衛生功労 - ケアタウンたかのす介護老人保健施設管理者] 伊藤裕之氏(高47) [地方自治功労 - 元上小阿仁村議会議長] 瑞宝双光章 丸屋剛士氏(高46) [地方自治功労 - 元大館市助役] おめでとうございます

高校時代、文学との出会い

小松 宰 (文筆家 高15期)

コラム

高校時代の忘れられない思い出の一つに、文学との出会いがある。そのころの私にとって文学とは、美と幻惑に満ちた、目も眩む光源のようなものだった。書のページに印刷された活字は、一見なんのへんてつもないインクのしみに過ぎないが、それを追うことにより、たちまち脳裡に、ひとつの鮮やかな情景が浮かぶ。あるいは精妙に組み立てられた意味の連環が、頭蓋の奥に正確に反映される。

それは私にとって新鮮な驚きであり、発見であった。書物をひもときさえすれば、見たこともない外国の街角や建造物や風景が眼前に広がり、そこに生活する人たちの人生を垣間見ることができた。江戸時代や戦国時代の風俗や生活だって疑似体験できたし、ときにはギリシャ・ローマ時代にまで遡って、ジュリアス・シーザーやクレオパトラといっ

た歴史上の人物の息づかいが聞こえるほど身近に近寄ることができた。そこには、あらゆる時代の、あらゆる事件が渦巻き、あらゆる人間たちの、あらゆる人生ドラマが渦巻いていた。

私は作中の人物たちと一緒に、あるときは人生無上の喜びを体験し、あるときは謎の陰謀事件に巻き込まれて必死に逃げ回り、あるときは世にも悲惨な境遇に突き落とされては悲嘆に暮れた。

言葉とは、なんとという不思議なものだろう。なんとという素晴らしいものだろう。言葉とは、暗闇に差しそめる光そのものではないだろうか。人間は言葉によって、ものごとの隠された真実を知ることができる。それが文学と出会ったときの私の驚きであり、感激だった。

これに反して、日常、体験する現実世界というものは、私にとっては、それ以上

上に意味のあるものとは思えなかった。例えば、自分が住むまちの見慣れた町並みとか街角といったものは、それは単なる町並みや街角であって、それ以上に意味があるとは思えなかった。

また、まちを囲繞(いにしよ)する山とか川といった風景も、それは単なる山であり川であって、それ以上の意味が潜んでいるとは到底思えなかった。

けれど、書物の中では、そうした日常見慣れた町並みや街角が、あたかも神によってそこに配置されたかのような、必然的な意味を担って存在しているのだ。山とか川といったくありふれた風景も、まるで神のまなざしによって祝福されているかのような光輝を放ってそこに存在している。つまり日常世界では、なんの意味もない事物や光景が、言葉によって表現されることによって、確固とした意味を帯び、神秘的な

必然性をもってそこに存在しているのだ。そして文学の世界では、登場人物のいかなる不運も、失意も、そして絶望さえも、言葉によって描かれることによって、すでに救われていた。どんなに残酷で、どんなに悲惨な物語でも、言葉によって表現されることによって、その悲惨さは、すでに救われているのだ。これはなんと言うべきなのだろうか。あえていえば言葉による聖化作用である。も言うべきなのだろうか。とにかく、それが高校時代における私の文学体験であった。

言葉という光の中ではじめて、世界を体験し、ものを見ることを知った私は、そのとき、幼な心にも「自分もまたいつか、言葉による表現者となって、事物の真理を探り、人生の真実を探ってみよう」と強く思った。

謹んでご冥福をお祈りいたします

平成17年度物故会員

- 平成十七年四月
 - 松田喜代治さん(大36期)
 - 大和 正弘さん(高3期)
 - 菅原 忠雄さん(大35期)
- 平成十七年五月
 - 麓 登さん(大36期)
 - 田村 通也さん(高12期)
 - 鈴木秀三郎さん(大38期)
 - 兜森 祐さん(高3期)
 - 安倍禎五郎さん(高3期)
- 平成十七年七月
 - 古内 永康さん(高2期)
 - 阿部 勇吉さん(大37期)
 - 下村 尚さん(大46期)

- 平成十七年八月
 - 渡部ミヤ子さん(高9期)
 - 渡部 茂久さん(高7期)
 - 蛇川 俊一さん(大39期)
 - 石戸谷三男さん(大35期)
 - 山田 友治さん(高16期)
 - 奈良光牙樹さん(高57期)
- 平成十七年九月
 - 桜田 昇さん(大43期)
 - 浜田 芳郎さん(大46期)
 - 浜名 通雄さん(高12期)
 - 小泉 通昌さん(大32期)
- 平成十七年十月
 - 高橋順一郎さん(大45期)

- 平成十七年十一月
 - 吉田 義雄さん(高7期)
 - 佐藤 文雄さん(高16期)
 - 小林 四郎さん(高4期)
- 平成十七年十二月
 - 松江 道夫さん(高5期)
 - 松浦 亮治さん(高8期)
 - 藤垣 正満さん(大43期)
 - 沢口 昇さん(大43期)
 - 片岡 忠穂さん(大26期)
 - 岩澤 米太さん(大39期)
 - 小野地光輔さん(大26期)
- 平成十八年一月
 - 河田 貞一さん(高4期)
 - 堀口 喬夫さん(高9期)

- 平成十八年二月
 - 花田 幸蔵さん(高7期)
 - 土田 正雄さん(大45期)
 - 川田 徳芳さん(大32期)
 - 高橋 廣治さん(大30期)
- 平成十八年三月
 - 石木田七郎さん(大29期)
 - 武田 正直さん(大37期)
 - 虹川 庄平さん(大32期)
 - 釜谷 義雄さん(大33期)
- 平成十八年三月
 - 高橋 勝司さん(大43期)
 - 高橋 基さん(高14期)
 - 山田 稔さん(高7期)
 - 福岡 敏弘さん(高4期)

(事務局届出分)

平成17年度 鳳鳴会会計決算書

収入の部				
科	目	17年度予算額	決算額	増減
1	繰越金	1,288,558	1,288,558	0
2	入会金	939,600	939,600	0
3	会費	4,400,000	4,626,232	226,232
4	寄付金	3,000	10,000	7,000
5	雑収入	1,400	839	561
6	基金取崩し	300,000	300,000	0
合計		6,932,558	7,165,229	232,671
支出の部				
1	庶務費	1,890,000	1,699,740	190,260
	(1)会議費	250,000	173,450	76,550
	(2)事務費	480,000	593,086	113,086
	(3)賃金	480,000	480,000	0
	(4)振替手数料	130,000	106,650	23,350
	(5)通信費	200,000	182,808	17,192
	(6)接待費	50,000	41,000	9,000
	(7)慶弔費	100,000	43,333	56,667
	(8)雑費	200,000	79,413	120,587
2	会報発行費	2,100,000	2,161,679	61,679
	(1)印刷費	700,000	713,580	13,580
	(2)通信費	1,300,000	1,369,163	69,163
	(3)旅費	50,000	50,000	0
	(4)雑費	50,000	28,936	21,064
3	事業費	2,441,000	2,522,280	81,280
	(1)連絡費	1,100,000	1,089,650	10,350
	(2)歓迎費	190,000	158,554	31,446
	(3)助成金	850,000	840,000	10,000
	(4)寄付金	1,000	0	1,000
	(5)その他	300,000	434,076	134,076
4	積立金	200,000	0	200,000
5	予備費	301,558	0	301,558
合計		6,932,558	6,383,699	548,859
繰越			781,530	

平成18年度 鳳鳴会会計予算書

収入の部				
科	目	17年度予算額	18年度予算額	増減
1	繰越金	1,288,558	781,530	507,028
2	入会金	939,600	1,008,000	68,400
3	会費	4,400,000	4,400,000	0
4	寄付金	3,000	1,000	2,000
5	雑収入	1,400	1,000	400
6	基金取崩し	300,000	200,000	100,000
合計		6,932,558	6,391,530	541,028
支出の部				
1	庶務費	1,890,000	1,660,000	230,000
	(1)会議費	250,000	250,000	0
	(2)事務費	480,000	160,000	320,000
	(3)賃金	480,000	570,000	90,000
	(4)振替手数料	130,000	130,000	0
	(5)通信費	200,000	200,000	0
	(6)接待費	50,000	50,000	0
	(7)慶弔費	100,000	100,000	0
	(8)雑費	200,000	200,000	0
2	広報費	2,100,000	2,440,000	340,000
	(1)会報発行費	2,000,000	2,050,000	50,000
	(2)H.P.運営費	0	290,000	290,000
	(3)旅費	50,000	50,000	0
	(4)雑費	50,000	50,000	0
3	事業費	2,441,000	2,141,000	300,000
	(1)連絡費	1,100,000	1,100,000	0
	(2)歓迎費	190,000	190,000	0
	(3)助成金	850,000	650,000	200,000
	(4)寄付金	1,000	1,000	0
	(5)その他	300,000	200,000	100,000
4	積立金	200,000	10,000	190,000
5	予備費	301,558	140,530	161,028
合計		6,932,558	6,391,530	541,028